ケアしあう ミュージアム フォーラム

自分ではどうしようもない理由で、人は、孤立することがあります。
障害がゆえ、国籍がゆえ、あるいは「無縁社会」とも評される人間関係の希薄化がゆえ・・・・・・
少数者の立場に置かれた人々に、文化芸術にはなにができるでしょう？
現代社会における分断を前に、ミュージアムは、どうひらかれるべきでしょう？

2022 年から、ボーダレス・アートミュージアムＮＯ-ＭＡという滋賀県近江八幡の小さな美術館を中心に、色んな立場の人たちと文化的な活動をともにする「ケアしあうミュージアム」というプロジェクトが立ち上がりました。
実践の中で見えてきた社会的な課題、そしてその先にいる人々の顔――関係者とともにプログラムを振り返り、文化施設が担いうる「ケア」について考えるフォーラムを開催します。

2023.3.5（日）　13:30~16:30

会　場：近江八幡市文化会館小ホール
（滋賀県近江八幡市出町 366）

参加無料

申　込：下記問合せ先へ TEL かメールまたは
右記 QR コードの申込フォームまで。

申込フォーム

【問合せ】
社会福祉法人グロー　法人事務局芸術文化部
TEL：0748-46-8100　Mail：kikaku@glow.or.jp

※会場でも、配信でも、各種情報保障を行います。詳しくは事務局までお問合せください。

オンライン配信も行います！

配信 URL：https://x.gd/CT4uz

トークプログラム

13:30 ～ 14:20　セッション①「盲ろう者との美術鑑賞」

見えない・聞こえない――「盲ろう」という障害のある人たちと文化的な生活を模索する。

岡田昌也（NPO 法人しが盲ろう者友の会理事長）
野中美智子（NPO 法人しが盲ろう者友の会事務局員）
山田創（滋賀県立美術館学芸員）

※ 盲ろう者との美術鑑賞成果展示　「静かな夜に言葉を浮かべる」を開催しています。
詳しくは、お問合せください。
2023 年 2 月 11 日（土・祝）～ 5 月 14 日（日）11:00 ～ 17:00　月曜休館
会　場：ボーダレス・アートミュージアムＮＯ-ＭＡ１階　　観 覧 料：無料

14:30 ～ 15:20　セッション②「サンタナ学園の子どもたちとのアートワークショップ」

滋賀県のブラジル人学校、サンタナ学園。２つの国の狭間に立つ子どもたちを、アーティストが訪ねた。

金仁淑（アーティスト）
柳田安代（NPO 法人コレジオ・サンタナ理事）
カマルゴ・ミドリ（本事業通訳担当者）
サンタナ学園生徒

15:30 ～ 16:20　セッション③「地蔵盆の記憶をアーカイブする」

少子高齢化とともに縮小化される地域行事、ゆるやかなつながりがなにを守ってきたか。

加藤賢治（成安造形大学 地域実践領域／共通教育センター教授）
田口真太郎（成安造形大学 未来社会デザイン共創機構助教）
インタビューに協力いただいた地域の方

主催：ケアしあうミュージアム事業実行委員会　協力：NPO 法人しが盲ろう者友の会、NPO 法人コレジオ・サンタナ　助成：令和４年度 文化庁 博物館機能強化推進事業（Innovate MUSEUM 事業）